

# 「まちあかり」しませんか？

— 玄関先や窓辺にローソク、ランプ、電飾を灯して街角にあかりを灯しましょう

## 羽

幌地区環境計画町民会議では、街並みをすこしでも賑わいと潤いのあるものにしたいと、昨年春から秋は花マップをつくり街角を花で飾っている人たちを紹介しました。冬は街角に「あかり」を灯したいと考えています。

毎週土曜日の午後6時から午後9時までの3時間、玄関先にローソク、ランプ、電飾などを灯して、道行く人にちよつとだけほつとするあたかさともしびを分けてあげてみませんか。

面倒という方は、外灯や玄関の明かりをつけるだけでもいいです。もつと面倒という方は道路側の窓のカーテンをその時間帯だけ開けてみてはどうですか。そして、ゆっくり街並みを見て歩いてください。きつと今までに見たことのない、新しい羽幌の風景が見えるかもしれせん。

いつしよに新しい街並みをつくりませんか。

また、たまには部屋の照明とテレビを消して、ゆっくりローソクの明かりで過ごしませんか。省エネルギーに反すると言う方もいるかもしれませんが。普段の生活の中で省エネルギーに努力し、ほんの少しあかりをわけてあげる。そんな心にゆとりのあるスローライフを提案していきたいと思ひます。

## 環

境を良くする運動を、町民の皆さんと一緒に、自分の出来るところから、出来る時からすこしずつ始めて行きたいと思ひます。あなたも、今からでも一人からでも出来ます。

ちよつとだけ自分のまわりの環境に目を向けてみませんか。それが未来の子どもたちへ、素敵な環境を残して行ける力だと思います。

### リサイクル・キャンドルの作り方

#### 【材料】

使用済み天ぷら油、市販の廃油処理剤(固めるテンブルなど)、綿糸(料理で使うタコ糸程度でよい)、ゼムクリップ、割り箸(割っていないもの)、小さなガラス瓶や使わなくなったガラスコップなどの容器

#### 【作り方】

1 芯になる綿糸の端にゼムクリップをつける。(クリップは芯がまっすぐ入るように重石になります。綿糸がない場合ティッシュを2cm巾で切り、こよりを作って使うことも出来ます)

2 容器の中にゼムクリップの付いた綿糸をたらし、割り箸の真中で挟み芯の長さを決める。

3 使用済みの天ぷら油に廃油処理剤を入れ熱しながら溶かし良くかき混ぜる。約60度ぐらいで溶け始めます。溶けたら火を止めます。その後、容器に注ぎます。

4 容器の油の中心にクリップ付きの芯を入れ、割り箸の中心で挟み固定する。

5 そのまま40度以下に冷めると固まり始めます。

6 芯の長さを2センチぐらい残しはさみで切ります。

リサイクル・キャンドルは屋外での使用をお勧めします。室内で使うと天ぷらやフライの匂いが少しします。火災や火傷に十分注意しながらご使用ください。屋外で使用する場合、風で炎が消えるので、アイスキャンドルやスノーランタンを作り、その中で使用すると、とてもすてきですよ。※火の用心には十分お気をつけください。

